

まちの宝!

さすが桂川の
パワースポット王塚!
力がみなぎるー



古代の謎フェスティバル(毎年10月第3週土日開催)町制施行50周年を記念して始まった桂川町の一大イベントの一つ。王塚古墳の前に老若男女が集い、楽しいひと時と明日への活力を得ることができる、内容盛りだくさんのお祭りです。



王塚装飾古墳館

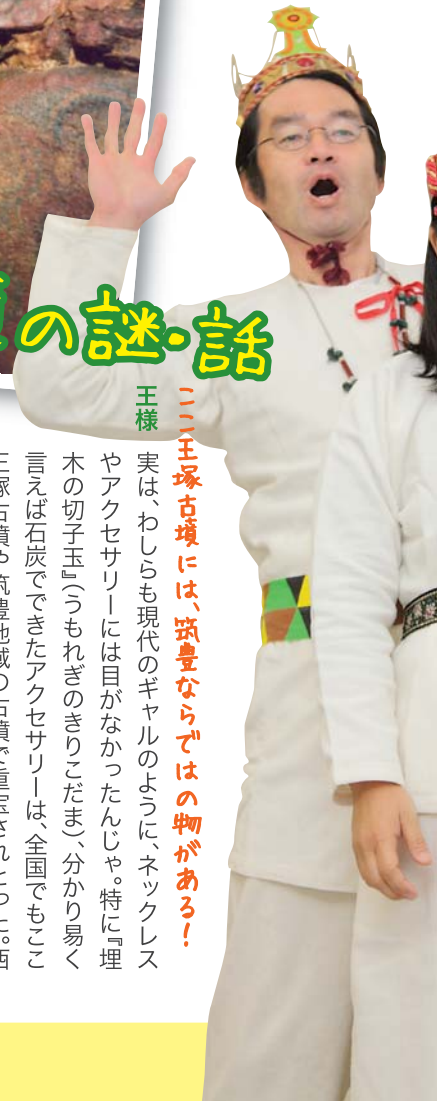


王様

ワシは王塚の王じゃ!
王塚古墳には、たくさんの謎や面白い話がある!
みな衆には今回特別に、ほんの少しだけ教えよう!



王塚古墳の謎・話



王塚古墳には、筑豊ならではの物がある!

実は、わしらも現代のギャルのように、ネックレスやアクセサリーには目がなかつたんじや。特に『埋木の切り玉』(つもれぎのきりこだま)、分かり易く言えば石炭でできたアクセサリーは、全国でもここ王塚古墳や筑豊地域の古墳で重宝されとった。西暦600年頃から、この地域は石炭が注目されとったと言ふことじやな!

王塚古墳で寝とったのは、わしだけじやない!

みな『王塚古墳は、王である、わし一人が眠る墓』と思つとらせんかのう? 実は、わしが寝とった石棺(せつかん)は、今で言うダブルベットでのう、枕も2つあるんじや。それと、石棺の前にも枕を2つ並べた寝床があつたんじや。つまり、寝とったのは全部で4人じやな! 『誰が寝とったか?』だつて、それは、秘密じや!

お取り寄せガレムならぬ、お取り寄せ古墳じや!

実は、わしは凝り性でのう。王塚古墳を造るときも、普通にそこらにある材料で造るのは『納得がいかん!』ということ、石棺が納められている周囲を覆う石屋形(いしやがた)の天盤部分(てんぱんぶぶん)や土台(どたい)の石は、わざわざ今の熊本県北部から取り寄せたのじや。みなに、どうだ! 凄いだろう!』と自慢したいからのう!

絵の巨匠や造詣の魔術師と言われた匠のおかげじや!

王塚古墳の石室の形や石室内全面に施された装飾絵画(えが)や、びつりと計つたように正確に敷きつめて描かれた三角文(さんかくぶん)などは見事じやろー実は、何人かの絵の巨匠(こおしや)が描いてくれたのじや。また、古墳の建設には、ホントに多くの村人に協力してもらつた。特に、石室の前室(まへむろ)と後室(ごむろ)の間に小窓(こまど)を設けるなどは、当時、造詣の魔術師(まじゆし)と言われた匠(たけ)が設計などをしてくれただけじや。